ボーリング柱状図

調　　査　　名　大野海岸早時地区海岸　海岸保全事業に伴う業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	3	2	6	3	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	広島県廿日市市大野早時	北緯	34° 18′ 07.6896″	
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所	調査期間	平成29年12月19日～平成29年12月21日	東経	132° 17′ 37.1394″	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	CDL 4.60m	角度	180° 上 下 90° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D-1	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	11.00m								エンジン	ヤンマーNFD13	ポンプ	東邦BG-3

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	2.80	1.80	1.80		礫混り砂質土	淡褐	密な		盛土。 細～中粒のまさ土。 φ5～30mmの角礫や亜角礫が混じり，締固められている。 表層10cmは草根が混じる。
2									
3									
4									
5	-0.40	3.20	5.00		礫混り砂質土	淡褐	中ぐらい		盛土。 細～粗粒のまさ土。 φ5～50mmの角礫や亜角礫が混じる。 礫片はやや風化し軟質で，基質は花崗岩。 掘削水は深度4.00m付近から不規則に逸水する。
6	-1.80	1.40	6.40		礫混り砂	褐	緩い		埋土。 中～粗粒砂。 φ5～40mmの亜角礫や角礫が混じる。 基質は花崗岩。掘削水の逸水が続く。
7									
8	-4.40	2.60	9.00		シルト質砂	淡灰	密な		細～中粒砂。 少量のシルト分を含む。 所々，φ5mm以下の礫片が混じる。 深さ的に砂粒子は粗くなり礫分多くなる。
9									
10	-6.40	2.00	11.00		風化花崗岩	黄灰			軟岩1。 細～粗粒のまさ又はφ5mm以下の礫片状。 カリ長石や角閃石の細粒化・粘土化が進む。 φ1～3mmの石英が砂～礫状で残る。
11									所々，岩片状をなすが指先で押えるとまさ状に崩れる。
12									
13									
14									
15									
16									

粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		1.15	12	15	10	37/30	37			1.15	P-1	⊖		
		1.45								1.45				
		2.15	5	5	4	14/30	14			2.15	P-2	⊖	物理	
		2.45								2.45				
		3.15	4	4	6	14/30	14			3.15	P-3	⊖		
		3.45								3.45				
	12/19 4.40	4.15	4	4	3	11/30	11			4.15	P-4	⊖	物理	
		4.45								4.45				12/19
		5.15	2	2	3	7/30	7			5.15	P-5	⊖		
		5.45								5.45				
		6.15	2	2	2	6/30	6			6.15	P-6	⊖	物理	
		6.45								6.45				
		7.15	7	8	10	25/30	25			7.15	P-7	⊖	物理	
		7.45								7.45				
		8.15	13	14	16	43/30	43			8.15	P-8	⊖		
		8.45								8.45				12/20
		9.10	50/9			50/9	50以上			9.10	P-9	⊖		
		9.19								9.19				
		10.05	32	18/3		50/13	50以上			10.05	P-10	⊖	物理	
		10.18								10.18				
		11.00	50/9			50/9	50以上			11.00	P-11	⊖		12/21
		11.09								11.09				